

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	全職員が自己研鑽に前向きであり事業所内外の研修に積極的に参加しています
	内容	事業所内外の研修を有効的に活用し職員の知識の向上に前向きに取り組んでいます。特に事業所内では各テーマごと5つのグループに分かれ毎月定期的に勉強会を行い、利用者への支援や実際の業務に活かす事を目的として実施しています。さらに年度末には各グループの研修成果を全職員に発表し研修内容を共有しています。また、法人本部の資格取得に向けた勉強会に事業所からも職員が参加しているほか、事業所外で開催される研修にも積極的に参加するなど、実際の支援や業務に活かす為に全職員が自己研鑽に高い意識を持ち取り組んでいます。
2	タイトル	総合的な意見を踏まえ、個別支援計画書を定期的に評価することが出来ています
	内容	利用者一人ひとりに作成している個別支援計画書は、担当の職員が6ヶ月に一度モニタリングを行い、計画書で定めた要望実現のための具体的課題についての進捗を定期的に確認しています。モニタリングは担当職員のみ意見ではなく、各班ごとで実施しているミーティングで他の職員から意見を確認したり、家族からの評価や要望についても取り入れ、総合的な意見を踏まえ個別支援計画書の評価を実施しています。モニタリングの仕組みを確立させ、利用者の現状の課題、家族の要望が個別支援計画書に確実に反映できるように取り組んでいます。
3	タイトル	法人や事業所内、地域の行事に積極的に参加し、地域の一員として活動できる場を提供しています
	内容	法人のバザーやお祭り、運動会への参加や事業所主催の「ひこうせんまつり」を毎年開催し、利用者が取り組んだ一年間の成果発表や利用者が創作活動で作った作品を販売しています。「ひこうせんまつり」には、200名を超える地域住民の方が来場され、地域に定着した行事になっています。また、地域の公民館祭りに利用者の作った作品の展示やショッピングモール内のイベントで創作品を販売するなど利用者が多様な社会参加が出来るように、法人や事業所内、地域の行事に積極的に参加し、地域の一員として活動できる場を提供しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	アセスメントの見直しも定期的実施する事を期待します
	内容	個別支援計画書については、担当の職員が6ヶ月毎にモニタリングを行う仕組みが定着しており、総合的な意見を踏まえ個別支援計画書を評価していますが、今後に向けては、アセスメントの見直しについても定期的実施されることを期待します。現状アセスメントは利用開始時に家族構成や主な生活歴、利用までの経緯、健康状態や日常生活動作状況等について確認を取り「フェイスシート」に記録していますが、年度末のモニタリング後に再アセスメントを行う等、アセスメントの見直しも定期的実施する事を期待します。
2	タイトル	地震や水害を想定しより具体的な訓練についても実施できると良いと考えます
	内容	事業所では毎月火災を想定した避難訓練を実施し、利用者の安全の確保に意識高く取り組んでいることは評価できます。今後に向けては、地震や水害を想定しより具体的な訓練についても実施できると良いと考えます。例えば、利用者送迎中に大地震が発生した際に備え、送迎ルート中の広域避難場所の確認や河川の氾濫危険情報が発令された際の対応方法、関係機関や職員などの応援態勢が得られるか等、震災や水害に備えた取り組みも必要と考えます。地震などを想定した訓練も実施していますが、多角的な場面を想定した訓練も実施できると良いと考えます。
3	タイトル	
	内容	